明治卅八年十月三十日第三種郵便物認可（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年六月十六日（水曜日）第百卅六號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

莨といふ字義の説明

烏天狗

烏天狗なるものより莨といふ字義に就ての投書舞ひ込みたり聊か専門の嫌ひあれど一寸面白ければ左に掲ぐることとなしぬ

「莨」と云ふ文字は一寸考へると何と云ふ事か薩張り意味が判らぬが、確かに烟草で無い事は明白である、若し「莨」と云ふ文字は若と云ふ文字から間違つて來たものならば敢て事々しく説明する必要はないが今を去る事二百年前、寶永六年の昔に於て既に此異同辨別を説かれてある、即ち大和本草の著者、貝原益軒先生で、先生は同書中、烟草の條に於て、左の如く書かれた。

今國俗凡て莨菪をたばこと訓す、わやまれり中華に莨菪は古よりあり、延喜式に莨菪をのせたるは日本にも昔よりある草なるべし、たばこは日本にも中華にも古はなし長崎にては、唐人は皆烟草と云ふ莨菪と云はず、是を以て莨菪に非ざる事を知るべし

其後寶暦十三年（去今百四十六年前）の出版に係る平賀源内先生の「物類品隲」にも此事に關して「莨菪をたばことするは非なり云々」とある只獨り「有識篇」と云ふ書に莨菪を訓して、多葉粉としてあるが、之等は畢竟當時の學者……或一部の人々が强て支那の事物に偏癖して凡百の植物に漢名に牽强附會せんとチヤンガリ械を楓と混合した手合で烟草と莨……と同視した、無識の業に外ならぬのである。

一体莨菪と云ふものは、如何なる植物かと云ふに、和名はハシリドコロ於保美留久佐、於仁比留久佐、亦ヲニグシサとも云ふ、莨菪は漢名である植物學上茄科に屬し學名をスカポリア、ジヤポニカ、マキシムと云ふ深山溪間の濕地に叢生して早春雪を犯して宿根より莖葉を萠出し葉の色は最初は紫黑色で追々淡綠色と變る、草の高さ、一尺五寸許、四五月頃葉腋に梗長き鐘狀の外面紫色で內面淡黃の小花を着け後に豆粒大の綠色の實を結ぶものである、葉の形は狹披針狀形で日本烟草一種の葉形を成す柳葉と稱するものに酷似して居る一寸烟草と間違ひ易ひ……之れ即ち文字迄も間違を來した處なのであらう。

烟草も一種の毒草だと云へば言はるゝもの、勿論此莨菪は正直正銘猛烈なる毒草であると共に亦藥草である……彼のはしりどころと和名のあるのも誤て此葉を食すれば忽ち狂悶して止る處なく走り廻り終に人事不省となるから古人もはしりどころと洒落て居る……其代り毒は藥にも成るとは能く云ふたもので莨菪も又其通りである古は之れを醫藥に供して、麻醉解凝の効ありとし今も彼の含有せる一成分により同じく藥用植物として盛に賞用されて居るのである。

されば莨菪は煙草で無ことは明かである故に何々莨とあるは第一其文字に於て烟草として讀むの、妥當ならざるのみならず若し強て莨の字を曲解とするも、前述の如く一種の毒草又は藥草を賣却するに外ならぬ否其文字と意味に於て烟草と訓することは到底出來ぬのである。

文苑

戀と火事

紅麗

僕は此の年迄女に關係したことはないが唯一度ある女を戀したことがあるイヤサ笑ひ給ふな嘘ぢやない實際だ、併し戀した許りでトウ〱物にはならなかつた、而も其の女がさ近頃筋向へ越して來たではないか僕ア全く驚いたね、イヤ嘘ぢやない、嘘だと思ふのなら女に聞いて見玉へソヲ來た那れだ一寸別嬪だらう、と獨りで饒舌つて居る側からソラ火事だと威かしたものがある、男は吃驚「ナニ火事だ」と立ち上りさま敷居に躓ひでズデンと俯向さまに轉んだ、

百人一首讀替（十五）

まして女史投

●待賢門院堀河
黒髪のもとどり放てながからんむすぼる今朝は解よしもなし

●後德大寺左大臣
有明の月に鳴きしかわれなるかなく郭公すがたどゝめず

●道因法師
つきはてし思ひに命ちはてやらず絶へぬ涙はうらみなりけり

●皇太后宮大夫俊成
憂の世をへだて深山の奥をうくしかのなく聲この身せつなる

●藤原清輔朝臣
とし經ば世の友はなれつらき身も越方こひしゆくねまよわで

●俊惠法師
夜はふかく思ひにふけて閨さむしもるゝ明まの待とうきかな

佐倉宗吾（百七）

眞龍齋貞水講演

是から梅村三左衛門、動揺ぬやうにソッと持つて、西丸下の松平伊豆守、御役宅へ立歸りました、御待受になつた伊豆守、御前へ罷り出ますと 伊「今日の役目大儀ぢや 三「ハア恐り入ります 伊「彦左は何う致した 三「愈よ御手詰なる御使者を蒙り、終に返答なく切腹いたしましてござる 伊「ホー、然らば老人を亡つたるか、ア、御老人も手詰の使者のため、切腹なして生膽を予に與へしか、然らば老人の厚意、名醫に配劑を申し付け、之を服藥いたし、健全の身となり、御勤めを致すであらう、予は初めてぢや、是へ出せ 三「ハ、ハアーッ」箱の紐を解いて、蓋を挑つて、中から壺を出す 伊「斯様な見苦しい壺を持つて参つたのか 三「イエ、銀を持参いたしましたが……ハア斯りや生膽の活氣で、變色したのでございませう」ナニ變色はしない、錫と取換へて仕舞つた、蓋を拂つて生膽は入つて居るかと御覧になると、何か書いたものがある、取出して讀んで御覧になると

最前殿中にて御約束仕候へども、餘り早急の御催促を蒙り、膽は潰れて無御座候

とある 伊「イヤ怪しからぬ奴だ、第一、銀と錫と取換へて仕舞ふなどは、不埒極まつたと御怒りになつたが仕方がない、三左衛門も呆れ返つて、太い奴は彦左衛門だと思つたそこで、其翌日になつて、殿中でヒヨイツと御出會になりましたから、体裁の惡い顔でもするかと思ふと平氣なもの 彦「イヤ、是は〱、豆州公が 伊「彦左ッ 彦「ハ、ハッ 伊「昨日は予が使者へ對し、膽は潰れて御座なく候などと信綱若年と侮り居つたな 彦「イヤ左様ではござらぬ 伊「然らば嘲弄したか 彦「イヤ左様ではござらぬ生膽を上げやうとは存じたか生膽では貴下の御病氣は癒らぬと存じまして 伊「ナニ 彦「イヤ貴下の御病症は、此彦左が能く存じ居る 伊「何と申す 彦「貴下は松平右衛門太夫殿御養子でござら 伊「それは今更めて申さぬでも、皆な世人の知る所なり 彦「然るに貴下は、御家附の奥方を御大事に爲さらぬで、長く御出入の踊り師匠、照とか申す婦人を御寵愛になし、今は之を御取立になつて御部屋様と致し大層御寵愛が好いさうでござるがそれがため奥方を顧ざるが故に、奥方附、御愛妾附と御家中二派に分れ、今にも既に衝突いたさんと云のを貴下が御俐口だに由つて、之を抑へて世間へ知れざるやう御防ぎになり、而して登城を致し、馴れさる天下の御政治に頭を痛め、胸を苦しめ、家へ歸つては、自家の騒動を外へ知らせぬやう心配なさる爲め内外兩用混じて御病氣となつたのでござる、一家を安じて治むる力なき者が天下の大政治を執つて、何と仁政が施せますか、今から貴下が、左様なる御増長をなされては、些と宜しからぬと存する、萬一この事将軍家の御耳に入りなば、何と遊ばす、甚だ失禮なれども、斯く申するは、彦左が申すのではござらぬ、東照神靈に代つての御異見でござる 伊「ハ、ハアーッ」イヤ伊豆守驚いた彦左衛門は常に予の屋敷へ出入など致した事はないのに、何うして此様な事を知つて居るであらう」と流石に驚いた 伊「唯今老人の異見、心魂に徹し候此事上様御耳へ入らざるやう、内聞に賴むぞ、是より家へ戻り、妾は暇を出し、奥を大切に御身の申する通り一家安穏に治むるに由つて、此事内聞に相賴むぞ 彦「ハ、ハッ、さては此彦左の御異見が御分りになりましたか 伊「ア、心魂に徹した、よう申してくれた 彦「然らば御異見賃として、昨日の銀の壺頂戴いたす」ひどい奴だ、到頭銀の蓋を捲上げて仕舞つた。

京城新報

統監政治の犧牲

第一銀行征伐

外に向て極めて怯懦なる統監政治は内に向ては極て强暴也。第一銀行は今や此强暴なる手に觸れて終に紙幣發行權を取上げらるゝに至らんとす。惟ふに之により第一銀行の受る打擊は非常のものなるべし、若し世人にして第一銀行が紙幣の發行によりて從來利益を得つゝありし事を以て同行が今回の如き統監政治の犧牲となるを冷淡に看過するならば弁は他日自己も亦同一運命に遭遇するを甘ずるものならむ、是れ豈輕々に看過すべきことならんや。

抑も第一銀行の紙幣發行特權たるや、特權其者に價値あるものに非ず、韓國の如き由來紙幣に信用を置かざる國民に對し、幾多の困難を經て之を信用せしめ以て圓滑に通用せしむるに至らしめたる所に價値ありとす、第一銀行發行の紙幣が今日の如く信用を博して通用するに至りしは全く同行及在留邦人の力也。然るに最早支障なく通用するに至りし迚、幾多の困難なる歷史を無視し此特權を第一銀行より取上げて韓國に與ふるに於ては其間如何なる理由ありとするも其不當なる事を認めざるを得ず。若しも此紙幣發行權が彼の電氣水道の如く假りに米人若しくは英人の手に握られ居るとすれば之を如何にすべきか、怯懦なる統監府は決して之を取上げざるべし、統監府政治開始以來三年有半其間統監の爲したる所は一に日本人征伐にあるが如くに見ゆ、而して今や最後の一轍以て第一銀行を征伐せんとす、茲に於て日本人征伐は殆ど完結したるの姿となる、而して統監の任を辭する伊藤公に於ては甚だ滿足ならんも、余輩に於ては其仕打の譯れるを慨歎せずんば非ず。

聞く所に依ば今回設置せんとする中央銀行なるものは余輩が一昨年に於て述べたる如く、韓國政府が第一銀行を乘取りて其招牌を掛け替るに過ぎず、而して此中央銀行は普通銀行の營業を兼ねて在來の在韓日本銀行を驅逐するの擧に出づべしと云ふ果して然らば啻に第一銀行のみならず、他の日本諸銀行も等しく統監政治の犧牲となり畢らんか。斯の如くに迄しても統監政治は日本人の利益を壟斷せざる可らざるか、在留邦人の利權を度外に窘迫して韓國の經營を爲さんとするは誤れるの甚だしきもの也、事茲に及では余輩は啞然として何事をも云ふ能はず、唯我日本政府が之に對して如何なる所置を取るかを見んと欲す。

●水産試驗船木浦寄港　山口縣水産試驗[illegible]の[illegible]試驗のため大運行の途次[illegible]は木浦に入港せるが歸途釜山近海に於てトロール漁業法實施試驗をなすべしと

東京電報

▲論功行賞發表　駐韓軍の論功調査終了し該書類は本日賞勲局に廻付し上奏の手續を爲したり發表期は來月末なるべし

▲伊藤公渡韓期　伊藤公は廿五日東京出發渡韓の途に就くべし

▲中央銀行組織　中央銀行計畫の内容は資本金一千萬圓とし日韓人より募集する事兌換券の發行國庫金出納の特權を與ふる事、年六朱の配當を爲し得る迄韓政府より補給する事、總裁、副總裁各一名理事、監事を置く事等なりと（以上十五日午後發）

外報一束

●邦人罷業鎭靜　本月九日發在ホノルヽ帝國領事より其筋に達せる報道に依ればエワ耕地の勞働者千八百名は六月六日相談會を開き殆んど全會一致にて一と先復業することに決議し七日朝より各其業務に就きたり尚ほ其他耕地の勞働者も漸次自覺の模樣あるに付き追て復業の事に至るべしと思考せらると

●日本公債低落　倫敦株式市場に於ては日本公債低落し大阪名古屋兩市債の打歩は八分の一磅に下れり

●米對淸國利權　米國にては淸國の鐵道敷設及び銀行設立に加はらんがため政府の保護を得モルガン氏を旗頭として一シンジケートを組織したりと

●黃龍旗の樹立　淸國は先に軍艦三隻を率ひてパラセル群島及び西沙島の實情調査に向ひし水師提督李順及び廣東道臺並びに技師等の一行は同島より歸來廣東に向へるが同一行はプラタス島の覆轍に備ふべく今回如上二島に黃龍旗を樹て以て淸國領土權の確證となせりと

雜報

●新舊統監への電文　韓皇には昨紙所報の如く伊藤曾禰の舊新統監に對し親電を發せられたるが其の電文は左の如し

前統監伊藤公へ

朕は朕が親愛なる貴公爵が統監を辭任せしを聞く朕は殆んど哀惜に堪へん今紀綱漸く張り萬生將に堵に安んせんとするは寔に貴公爵が老驅精を竭し朕が闕漏を匡し躬ら經始せし勤勞の多大なるに由る朕深く其の在任四ヶ年の補導の至誼を感謝し茲に併に貴公爵の健康を祈る

新統監曾禰子へ

朕が親愛する所の伊藤統監の辭任を聞き切に哀惜すと雖も貴官の陞任を聞き衷心欽喜す今百事將に緖に就かんとし内外の庶政貴統監の補導に俟たざるべからず朕茲に貴統監の從速歸任せんことを望み併せて建康を祈る

●水電會社と韓人夫　宇治川水電會社にて[illegible]韓國人夫五十餘名を使役せるが其の結果良好なるより今回更に韓國[illegible]道朴盆順外五十八名を募集せる事は既報の如くなるが右人夫は十日午後七時漢口丸にて川口に着し同夜京橋より淀川通の滊船にて宇治川水電所に向けて出發せる由なり人夫の賃銀は一日最高五十錢なりと

●親書と勅使

韓皇には伊藤公統監辭任に就き公多年の補導翼贊の勞を謝する爲め十六日侍從李會九に親書を齎らしめて渡日せしむる由なるが尙李侍從は渡日の上親書を韓太子に奉呈し皇儲は勅使として伊藤公を訪問の上右親書を贈授する筈なりと

●水道會社の野心

例の大韓水道會社は京城市中の給水事業を獨占して莫大の利益を收めつゝあるも尙飽き足れりとせず今回其手を龍山に延さんと企て先づ軍司令部師團司令部の給水を受負ふを口實となし新十五間道路に水道鐵管敷設の許可を得んと先頃中より其筋に向つて運動を開始したりとの事なるが其筋にては軍隊の飮料水を外人の供給に仰ぐを不可なりとして結局水道會社の交涉に應ぜざる方針に決定したりと云ふ

●新舊統監の謝電

別項韓皇より舊伊藤統監及曾禰新統監に對し親電を發せられたるに對し十五日左の謝電ありたり

伊藤舊統監より

御親電を拜誦し感佩に堪ねず遠からず渡韓拜謁多年の優恩を謝すべし

曾禰新統監より

今回統監に陞任に就き優渥なる御親電を賜はり感謝に堪ねず茲に謹んで拜謝す

●韓皇室の贈與品

韓皇室にては伊藤公の統監辭任に對し多年の功勞に報ゆるため贈物をなさんと種々協議中なりしが結局銀製の裝飾品を贈與することに決定せりと

●新統監入京期

既報の如く曾禰新統監は來る十八日朝東京を出發し十九日馬關着廿一日午後八時廿分南大門驛着の豫定なりと

●各大臣の訪問

新舊統監の新任式公報を統監府より韓內閣に通牒するや十四日午後三時李總理を始め各部大臣は車を列ねて統監府を訪問したれば石塚參與官は樓上の應接室に迎へたるが李總理は各大臣を代表して伊藤統監が四年間韓國の啓發に努力せられたるの勞苦を謝し併せて新統監親任の喜びを陳べ午後四時一同退廳したりと

●宮中の活動寫眞　曩きに南西韓巡幸の節特に日本より技師を呼寄せ採影せしめたる南韓の幻燈寫眞と西韓の活動寫眞は此程出來したるを以て十四日午后八時より仁政殿に於て擧行したるが先つ韓皇並に皇后臨場し各皇族同夫人各大臣同夫人宮内府高等官及宮中女官三十餘名は愛國婦人會幹事大橋氏の說明に趙農相の通譯にて當時の情況を一々映寫したるが韓皇並に皇后には頗る滿足の體にて皇族其他の婦人は何れも嬉々として觀覽し十時過散會したりと云ふ

●元山昨今の金融　先々月以來緩漫を極め遂に釜山各銀行と同樣貸出利子の引下をなさんとしたる元山の金融は五月下旬に至り鮭の出廻り多き爲め稍々持直し相應の貸出しあり現在の模樣にては今後引き續き多少の活況を持續するならんといふ

●葉錢回收及引上高　光武九年より本年四月末に至る葉錢回收及輸出額は次の如し

年	回收額	輸出額	合計
光武九年	一、四二五圓	一〇五、八九六圓	一〇七、三二一圓
同十年	二、三二一	五四九、一五三	五五一、四七四
隆熙元年	一七二、九三六	九六七、九八二	一、一四〇、九一八
同二年	三〇二、四一七	—	三〇二、四一七
同三年	一、三六〇、七六三	—	一、三六〇、七六三
合計	一、八五九、八六二	一、六二三、〇三一	三、四六二、八九三

葉錢は隆熙二年七月通用價格を一枚二厘とし一圓迄を限り補助貨として通用することを公認したるが價格公定後より四月に至り引上高は全道を通じ一百六十五萬七千四百十五圓餘なりといふ

●治外法權問題要旨　治外法權撤去のことは伊藤公從來の宿題たるは既に述べたるところなるが尙其の內容は具体的に判明し居れりと雖今日之れを發表するの時機に達せざる故今其の骨子に就て一言世人の惑を解くべきことは日本が宗主國として外交又は軍事を掌る如く司法權に就ても改良を施すものなりと云由京通は報し來れり

●一銀問題の解決　韓國中央銀行新設に關し日韓兩國政府と第一銀行との間に交涉中なりし兌換券引上に對する賠償其他の重要問題は無事解決したる旨東京滯在中の市原一銀總支配人より十四日副支配人へ通報ありたりといふ

●森林と害虫發生　過般來平安南道順安郡の大松林に俗に毛虫と稱する害虫發生し益々傳播の模樣なるが例年に比し其被害甚だしく此際相當の驅除方法を講ずるに非らざれば或は全部枯死するに至るべきを以て其筋に於ては目下之れが被害の區域を調査中なりと

●新舊統監送迎會　李總理大臣は韓皇の勅命を奉じ伊藤曾禰の兩新舊統監の送迎園遊會を開催する由にて目下參列者の人名調査其他の準備中なりと

●各團体の電報發送　一進會並に大韓協會は伊藤公統監職を辭し曾禰子陞任の報を聞き十五日新舊統監に對し挨拶の電報を發したり

●一銀行舍基石式　第一銀行韓國總支店にては目下百万圓の豫算にて南大門通りに新築中の行舍は此の程基石工事を終りたるを以て來る廿五日頃基石式を擧行する筈にて當日は伊藤公曾禰統監にも列席さるべしと

●香川縣の韓海漁業　香川縣にては韓海出漁者の根據地漁場の出願を知事の名を以てすることゝし昨今其手續中なるが同縣の出願する漁業根據地はチセツ浦附近の三灣にて漁場は卅ヶ所也と

●道書記官會議　道書記官會議は豫報の如く十五日午前九時統監府に開會各參與官を始め局長等參列し地方行政に關する道書記官の意見を聽取し午後三時頃散會せり

●地方行政と區域　從來韓國に於ける地方行政區域は廣狹大小相均しからず施政の上に頗る不便を感ずること多きを以て內部は曩きに地方行政の刷新を期し分合を決行することゝなりたる由は既報の如くなるが其后種々の事情の爲めに未だ之れを分合する迄の運びに至らざりしが過般內部の道書記官會議に於て各書記官の意見を徵したる處施政上之れが分合を決行するは適當のこととなるも從來の慣習もあり旁地方の狀況を參酌して適宜の配合を爲すに非らざれば後日如何なる紛擾の發生するやも計り難しとの意に一致したるを以て內部は各書記官歸任の上更らに地方の事情に照らして各自の意見を徵する筈なりと

●湖南鐵道買上眞相　湖南鐵道は先日十二萬九千四百三十五圓余を以て其筋に買上ぐることに決定したるに依り度支部は豫備金より之れを支出せんとする事は當時の紙上に報導したるが今其の買上に就ての眞相を聞くに該鐵道の株券は殆んど韓國知名の士に於て所有し居れることなれば例令へ權利は三年前に消滅せりと雖も今日之れを其儘に放棄する時は當局者へ集中するの怨恨は實に容易ならざるものあるに付李總理大臣は例の元老收攬策より八方に奔走せし結果遂ひに買上ぐべく決定したるものなりと京通は報せり

●貨幣發行高週報　當地一銀支店に於ける六月六日より十二日迄の貨幣發行高左の如し

第一銀行券總發行平均高	九、八一一、五〇〇
内正貨準備發行額	三、三二〇、〇〇〇
保證準備發行額	六、四九一、五〇〇
銀行券平均手許有高	七六〇、九六六
銀行券市場平均流通高	九、〇五〇、五三三
硬貨發行額（六月十二日現在）	四、二七〇、五四〇
內金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六七三、五〇〇
同廿錢	七三二、〇〇〇
同十錢	四二六、〇〇〇
白銅貨五錢	七八六、三五〇
青銅貨一錢	一三九、六三〇
同五厘	六三、〇六〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●押收の出版物數　出版法發布以來五月二十二日迄の出版物押收數は三千七百〇四部なるが其後の分は中等教科東國史畧、越南亡國史、幼年必讀、同釋義、禽獸會議錄、笑話、二十世紀朝鮮論合せて一千〇七十一部にして合計四千七百七十五の大數なりといふ

●阪神觀光團の觀覽　阪神觀光團は十五日[illegible]景福宮を觀覽し[illegible]觀覽せり

●營林廠龍山派出所　營林廠にては木材販路擴張の爲め今回龍山に派出所を設置したる由なるが西北營林廠龍山派出所と稱する由なりと

●各國領事の祝電　曾禰副統監の統監昇任式公報を統監府より各國領事に通牒するや各國領事は各々祝電を發したりと

●善竹山の立標工事　登臺局の群山港口に建設すべき二個の掛燈立標工事中潮流急なるがため比較的難工事と稱せらるゝ善竹山の立標工事は日夜其工事急ぎつゝあるため昨今工程大に進行したるも何分難工事のことなれば完成までには尙ほ數旬を要すと

●警備電話公開期　靈岩郵便取扱所にては長興、海南等其他各所と共に遠からず警備電話線を電報用に公開するよしにて目下夫々準備中の由なるが開通は多分七月中ならんといふ

●巡査採用試驗施行　巡査缺員のため警視廳に於ては來る六月卅一日頃採用試驗を行ふ由なるが例により志願者多數なりと

●朴內相警視廳視察　朴內部大臣は十五日午後一時警視廳を視察したり

●西島師團長全快　第六師團長西島中將は過般韓南東萊溫泉にて病氣療養中なりしが全快し十四日歸任したりと

●西島中將の訪問　西島第六師團長は十五日午前大久保軍司令官を大觀亭に宇佐川東拓總裁を東拓會社に訪問し病氣全快の挨拶を爲したり

●明石參謀長轉居　明石憲兵少將は十四日在龍山參謀長官舍に移轉したる由

●永濱關稅總長歸鄕　永濱關稅總長は既報の如く夫人母堂逝去の爲め十五日歸鄕す

●群山方面の漁況　群山方面に於ては日本人の漁業は主として鮟鱇網を用ひ每年舊三月頃より七月中旬まで漁業期節として九州方面及山口廣島等の各縣より來航するもの六七百艘に及び其の漁獲せる金高は每年三十萬圓を下らず其主なる漁獲物は鯛、石首魚、太刀魚、ヒラ、鱧、ニベ等にして其根據地は猬島、古群山、竹島、烟島、鹿島、狐島等なりとす是等漁船の一漁季間の收益は一艘に付き五百圓乃至八百圓の間にありて日本內地の漁業に比すれば最も有利なる事業とす然るに今年三月頃福岡、長崎、佐賀、熊本四縣下の鮟鱇網漁業者は卒先して平安南道の沿海に來り漁業を試みし結果に依れば僅かに一ケ月に足らざる期間に於て少きは四百圓多きは六百圓の水揚を爲し群山方面に於ても三四ケ月を費して漁獲せる金高を僅か一ケ月內外に取上げし事實を生せし結果北方面への漁業者は勿論群山方面にある漁業者も其豐漁を聞知し續々之れに赴くものありて今や平安南道に於ては二百艘內外の日本漁船を見るの好況を呈しつゝあれば比年支那密漁者の爲めに壟斷跡躪せられつゝありし漁場も漸次日本人の勢力範圍に入りて漁權を回收し得べきに依り彼の密漁者の取締勵行と相俟つて今後は一層の發展を見るを得べしといふ

●叙任辭令

依願免本官　內部技師　佐野藤次郎

任判事叙奏任三等　宇野美苗

建築所技師　馬淵豐

日本神戸大坂及横濱へ出張を命ず

公人私人

▲佐藤金助（平壤副理事官）入京中の處十四日仁川へ

▲村上平三（長崎自由倉庫株式會社長）同鎭南浦へ

▲張宇根（平壤警察署警視）同歸任

▲大和田廣治（福岡縣產業視察員）十四日入京不知火へ

▲守田六男（大邱林業事務所長）同三日月へ

▲熊谷五右衛門（福井縣會議長）同浦尾へ

▲勝部彥三郎（山口縣技師）同上

近事片々

▲統監　更迭と共に伊公に優詔降る公の光榮此上なし蹇々匪躬聖明に應へ奉るべき也

▲我が　聖上陛下が老臣を待つの厚き掛念もいと畏し啻に公のみならず國民皆感泣す

▲統監　決定して韓國民亦安堵す從て例の政客等流說の時は去る今後唯靜に働く可し

▲新統　監施政方針は依然前政策の踏襲なりと聞て現狀は維持せらるべし韓廷靜寂也

▲李根　澤權重顯李夏榮等も此際活動の餘地なからむ最早政權杯は諦むるが身の爲也

▲韓太　子の東北行は伊公の來韓して歸朝の上なりと云ふ北海の天地避暑に最も妙也

▲伊公　統監を辭するも太子大師は其儘なりと左もあらむ是れ公が亦自ら好む所たり

▲斯く　するに於ては統監たらざるも韓皇室とは常に密接關係を絶たず是れ欣ぶべし

▲韓國　本年の作況は如何未だ豐凶をトす可らざるが今日の處にては先づ豐作たらむ

▲本年　は割合降雨も潤澤也此先き順當に降雨あれば稻作は上々とは韓農夫の語る所

▲米國　は駐淸公使をして淸國外債募集に米國資本をも加へよと淸政府に申込めりと

▲而も　米國が多年淸國の爲に盡せる事情を言明せりと然るに淸政府曖昧の答をなす

▲茲に　至て淸國の外交も妙を極む外債を起すに對手國をして競爭せしむ是稀有の事

▲日本　外債を募集するも難易何れぞや一方は貸手の歡心を買ひ一方は借手が意張る

▲列國　を競爭せしめて悠々意張りながら金を借る條件其他意の儘也是外交の妙用か

▲東洋　の覇者たらんとするには日本は更に外交に於て揮はざる可らず穴もごかしや

▲現在　帝國の地歩に於て外交だに巧みならば更に國光を宣揚する決して難きに非ず

▲日糖　事件の公判は愈々出で、愈々醜元兇秋山の饒舌は更に新聞讀者を出さんとす

▲獄裡　に慣れて醜代議士等段々圖々しくなり渠等本來の醜態を曝け出す唾棄すべし

●水產試驗船木浦寄港 山口縣水產試驗所々屬ケツチ形帆船朝日丸は農商務省指定の獨逸トロール漁業法試驗のため大連行の途次過日木浦に入港せるが歸途釜山近海に於てトロール漁業法實施試驗をなすべしと

●水電會社と韓人夫 宇治川水電會社にては韓國人夫五十餘名を使役せるがその結果良好なるより今回更に韓國慶尚道講道朴益順外五十八名を募集せる事は既報の如くなるが右人夫は十日午後七時漢口丸にて川口に着し同夜京橋より淀川通の汽船にて宇治川水電所に向け出發せるが右人夫の賃錢は一日最高五十錢なりと

●元山昨今の金融 先々月以來緩漫を極め遂に釜山各銀行と同樣貸出利子の引下をなさんとしたる元山の金融は五月下旬に至り鯖の出廻り多き爲め稍々持直し相應の貸出しあり現在の模樣にては今後引き續き多少の活況を持續するならんといふ

●阪神觀光團の觀覽 阪神觀光團は十五

蝮の鳥田(中)

▲奸才邪智の權化 ▲不義不德の結晶

又は蝮を以て桀まるの嘗へ、彼れ蝮の鳥田の手下には下木某なる羽織ゴロ傭き居れるが此奴中々の筋繩では治まりのつかぬ代物にて常に親分鳥田の命を受けて程かの報酬を貰ふては如何なる仕事を援け何は『合の點だ……』と云ふて酒もくらひ女も買ひ行く／＼は鳥田に一儕けさせて自分は其の一部の山分に預らんとする虫の好き野心の鳥田の眼には如何程透く程なれども兎も角もイカさま仕事の手先としては苦勞しなくセンから切り迄抜け目のなき男なれば鳥田も心から調法がり唯一の股肱として頼りとなし居るぞ鳥田に取つては丁度ナ所と云ふ所なるべし

何ばサテ斯く幾多の悪人をペテンに掛け尚は大膽にも銀行をもマンマと仕てやつた彼れ蝮の鳥田は存外世間が渡り易く世間の奴等が馬鹿に見ゆる料簡から益々横着の心を起し手下の下木某とも相談の上這度は更に銀行に書き入れたる一番抵當の家屋をば又々他の銀行の登記を晦まし一番抵當にて大和町邊の中島某なるものに書き入れ首尾好く二百五十圓の金を借り出し二ヶ月の返事で期日は安心なされとは當座の氣休めテコイ貸したが最後期日に至るも約束を履行せざるのみか彼は乃公が御座いとの面構へにて白晝平然大威張で濶歩する鳥田の流石は人非人も蝮だけあつて凡ての遣り方が畜生的なる

ものより五百圓といふ大金を借り入れ又ぞろ其の家屋をば利用し前記の關某なる相應の贅澤をなし而ながら天下の紳士は構へにて白晝平然大流石は人非人

證を濫發する鳥田の遣り方が畜生的なる

ば牛ばを持ち上げ否な蝮の鳥田は何處や一寸數われた處で其番抵當となり居るに無瑕物の如く裝ひ賣却せある矢先き當地の圓乃内入金として三百上出來なりしも壁に

耳あり障子に眼ありいつしか此事を聞き込みたる圓本某の友人が同人に向つて鳥田の不正行爲を事細かに打ち明けたるより圓本某は事の意外に打ち驚き此れはしまつた籍められたと後悔の臍を噬みしも後の祭り其のやうな怖ろしい人間では今更ら相手取つて騷いだ所で追つ付くまじとは思ひしものゝ懲しめのためにもなるべければとて圓本某は目下人を派して日夜嚴談に當らしめ居るとか

併し彼れ蝮の鳥田に取つては此れしきの藝當は朝飯前のこと次回に曝露する事實の如きは人をして聞くからに悚然たらしむるものあり

●廣島から仁川迄女郎買に來る

如何に交通機關が完備せしとて是れは又御苦勞千万な話ならずや、處は仁川敷島遊廓吾妻樓に嬌名高くも何んともないぽん太と云へるが以前廣島遊廓に居たる頃彼れの色香に迷ひ多からざる財産を蕩盡して通ひ詰めたる同市稻荷十九番地下駄職前科一犯と云ふ肩書を有する正目損榮(二九)と云ふ甚助あり此男ぽん太か仁川へと仕替へになりしも思ひ切れず何んとかして今一度逢ひ度きと男の一徹豆腐位は透せずと云ふ事なしと殘り少なき屋財家財を賣飛ばし其金にて時計、單物、洋傘等を購めて廣島を出發し遙に玄海の波濤を越へ二百八十哩の京釜線も無事に通過して去る十三日仁川港は杻峴驛にと下車し其處より腕車を驅り吾妻樓にを繰り込み態とぽん太には之を告げす、かよれ半の兩妓を揚げて散財し大に思はせ振りを爲しつゝありしをぽん太の悟る處となり廊下を通り趣しに一寸覗き見れば損榮の姿は昔に變つた紳士風なればコイツ甘いと直ぐ様座敷に躍り込み逢ひたかつたを極め込みしかば損榮は殊の外恐悦がり委敷き話は差向ひでそれよりぽん太の部屋へ席を替へマア此前は大變立派な姿ですチーとぽん太が云へば損榮は忽ち乘氣になり今では商賣も手廣く初め是れ此通りと僞せ判取帳に千圓とか五百圓とか記入したるを取出しぽん太に見せて大法螺を吹き其夜は久し振りに嬉れしき夢の數々も結びさて翌朝勘定十二圓幾十錢の支拂と云ふ段にたつてカバンに入れた筈の金六十圓が小出しの十圓のみで五十圓の行方が知れないので大騷ぎを演じたるが嘘か誠か結極汽車中で遺失せし者と斷定しはしたれど納まらないのは吾妻の勘定に止むなく新調の時計や着物を入質し漸

豫告

▲相談の相談▼と題し讀者の質問を募集致します、されば如何なる問題に拘はらず本社編輯部に御問合はせ下さい必ず確答を致します

京城新報編輯局

●賣掛金の費消 富山縣東礪波郡南山村大字冲村三千六百二十三番地平民當時京城本町五丁目四十六番戶池邊嘉平方雇人倉島五郎平(二十)は本年一月頃より池邊方店員として奉公中去る三月頃より五月初め頃迄の間に於て得意先より賣掛代金一百餘圓を數度に受取り全部酒食に費消して逃走爾來蹤跡を晦まし居たるが一昨日午前十時頃本町七丁目渡邊茂方に潛伏し居たるを發見され南部署に引致されたり

●東京大相撲勝負附 國技館大相撲第八日目勝負並に重なる手捌及び九日目取組左の如し

「八日目勝負」

勝		負
山泉	(よりきり)	平の石
八島山	(よりきり)	稻瀨川
高見山	(おし)	梅の花
碇潟	(ひたし)	綠島
鳳	(ひきおとし)	朝嵐
梅ヶ谷	(つきだし)	大綠
中入		
綾浪	(つりだし)	錦戶
小常陸	(わたし)	立川
千年川	(あびせたおし)	上ヶ汐
伊勢濱	(うりやり)	西の海
常陸山	(だしなげ)	玉椿
後		
鬼龍山	(分)	紫雲龍
黑瀨川	(こもたれ)	大湊
司天龍	(つきだし)	兩國
鏡川	(預)	大の川
太刀山	(いしき)	駒ヶ嶽
男島	(よりきり)	有村
有明	(痛)	小柳
鶴渡	(こもたれ)	浪の音
國見山	(よりきり)	尼ヶ崎

右の内西の海に伊勢の濱は西剛猛なれども伊勢も亦奇手縱橫の精兵なり大喝采に迎へられて登場し清く仕切て立上るや伊勢の左差を西小手に振りしも利かす左四つに渡り西上手を引くや勝を一氣に制せんと浴せ氣味に寄倒すを伊勢何のと殘つて劍の峰に打遣り美事に極つて伊勢の勝は大手柄▲太刀山に駒ヶ嶽●常陸對梅に次での大勝負、滿場日々に最負力士の名を呼んで喧囂耳を聾し鐵骨の大建物も崩れやせんと危まれたり庬然たる魁軀の兩力士は悠然土俵に登り仕切り直す事數回、見物堅唾を呑んで凝視する中に兩力士は呼吸を合して立上るや駒得意の咽喉輪を攻めて突立てしを太刀土俵際に耐へて突返し太刀左を差すや一散に土俵際にアオリ寄り駒が狼狽して懸命に耐ゆるを透さず右の猿臂を伸しグイと突出し太刀の勝利に歸したり

「九日目取組」

取	組
山泉	八國山
大湊	立川
千年川	黑瀨川
兩國	綠島
尼ヶ崎	司天龍
大綠	玉椿
朝嵐	太刀山
大の川	梅ヶ谷
紫雲龍	梅の花
高見山	稻瀨川
男島	有明
小常陸	上ヶ汐
碇潟	鳳
西の海	鶴渡
駒ヶ嶽	伊勢濱
常陸山	國見山

●萬石洞のボヤ 一昨日午後二時頃仁川萬石町稻田氏所有和田觀測所長の居宅藁葺物置き小屋より發火したるも日中の事とて附近の人々協力消し止めたるが原因は下女が竈火鉢等より火氣ある灰を石油箱に捨て置たるが風の爲めに飛ばされ他に燃へ移りたるものなりと云へり

●喰付犬の横行 壽町一丁目米韓電氣會社出張所雇韓人朴福秉(十五)は一昨日午後二時過其隣家なる森某の飼犬に咬付かれたるを以て荒井獸醫をして該犬の檢診を爲さしめたるに狂犬には非ざるも人に咬付く癖ある惡性の犬なりと

●不正の飲料水 仁川濱町二丁目武井峯太郎方販賣の蜜柑水中不良品八本仁川ラムネ會社にて配達中のラムネ中不良品五本ありしを係り官に認められ投棄せしめらる

●天一支配人の盜難 一昨十四日深更永樂町一丁目天一銀行支配人遠山氏方に竊盜忍び入り家人の寢靜まれるを見濟まし現金百十圓品物百九十圓合計三百圓を竊取し逃げ去りたるが其の筋に於ては目下犯人搜索中なりといふ

謹告

朝鮮紳士錄豫約申込期日は昨十五日にて滿了と相成筈之處今回更に京城理事廳の認可を受け八月十五日迄延期致候尚詳細は明日の紙上にて廣告可仕候 敬白

六月十六日

京城新報社 出版部

●一力の會席料理 明治町三丁目東拓會社下隣なる一力にては一人前一圓にて會席料理の甘いものを調進し冷ビール迄副へて進せるとのこと

●取消 昨紙第三面欄局員の不正手段と題する記事は一部誤聞の點もあり且つ當局者に於ても大に反省する處ありたりと云へば茲に該記事を抹殺す

家庭料理

◎今日のお總菜 には何が宜しからう、手數も掛らず原料も高値ない「みちん豆腐」と洒落たら如何、ナアにみちん豆腐なぞと捻つたことを申すが餡かけ豆腐の親類です、先づ豆腐を薄く剝ぎ之れを縱橫に細く(短册形)切り水洗ひして濁りを取つて置いて、汁は味淋と醬油とを適宜に鹽梅して煮沸し煮出汁を加へ水溶きした葛をソロ／＼と入れドロ／＼加減になつた所へ水を切つて置いた豆腐を入れてザッと煮る吸口にはおろし山葵かおろし生薑を落す、モウ出來ましたサア召食れ。

演藝界

▲京城座● 梅花美團は昨日と同じく嫁ヶ淵全編を出し頗る好人氣なり

▲壽座● エムパラーの活動寫眞は全部寫眞を取替へたるが長尺物頗る多し

▲歌舞伎座● 市川市當一座の舊劇は腕揃ひなるが中にも女優米花の濃艶なるが一層呼物となり好人氣なり本日の替りは「前難波戰記」切り「玉三」にして役割左の如し

木村長門之守(當笑)豐臣秀頼、眞田大介(福高)大野修理之助、明石掃部、釆女之助(琴樂)加藤主計、穴山小介(高笑)近習、こし元(多見治)根津甚八、こし元(歌松)茶坊主(はる子)金藤次、木田孫兵衞(雀三郎)近習(まさ子)坂田庄三郎、大名(右圓)薄田隼人、深谷西海入道(鶴七)大野道犬(鷹次)德川家康、後藤又兵衞(瑚作郎)大久保彥左衞門(三河藏)片桐且元、眞田幸村(市當)淀君、初花姬(米花)正榮尼、相の小四郎(嘉若)大藏局、桂姬(市圓)近習、こし元(玉若)萩の方(歌之丞)

●紳士の遊興振 右は紙面の都合に依り本日休載

▲小僧君に御相談申す、近來邦人の當國に移住する者多くなりましたが夫に付て當京城に米穀商品取引所を創立しては何うでしよう物價の不平均も直り金回りも多少能く成るだらうと思ひますが(相場狂)▲サア如何上の問題は不得手だか到底維持出來ますまい當地は貨物の集散地と云ふよりは消費地ですからね未だ設けるとすると釜山や仁川や木浦の方が適當地の樣に思はれますね、御承知でも御座いましょうが確か明治廿五六年の頃と記憶しますが日本内地でも一時各地に勃興した事か御座いましたね夫れが今では殆んど一つ殘らず行き倒れになりました、深い理由は知りませんが夫れから推して見ると當地では持てまいと思ひますが所謂盲目の垣覗きで……(小僧)▲龍山桃山の萬梅樓に居た仲居の○○は京城に居ると云ふことですが京城は何屋に居るのか而して相變らず浮氣をして居ますか四十五にもなつて善い加減によせよ(心配生)▲他人數集合して業務に從事する所へは結核患者なぞは出入させん方が公衆衛生上必要だ此の種の患者に限つて健全がるものであるから危險の度が高い(衞生家)▲好漢碇潟太刀山を破つて師常陸山の恥辱を雪ぎ得たり番狂はせと云はゞ云へ終ひに堂々たる勝利たるは爭ふべからすだドンと來い(角力狂)▲情歌を一つ「惚れて居るのに先や夫れ程に思はぬ夫れだけ思はれる」(八重子)▲京城で二つ以上指輪を箝めて居る女を見たらば賣春婦と少くも花柳界の女と見て誤らないと觀察したが何うだらう(指頭觀相生)▲貴社の横小路程不潔な所は少ないアノ溝の樣子は何んだ(通行人)▲日淸鮮人雜居の地域にして命令二途に出づるが爲めです本社へ叱りは少し迷惑します元來淸國人は家を建てゝ人に貸すのに便所や臺所や水の除け口を作らんのも一つの原因をなすのです、序でと云つては恐れ入るが南部署に感謝します隣りの淸國人は總て舊慣を改めました(係り)

明治町壹丁目目貫の場所に老舖讓物あり

姓名在社

●天氣豫報(自十五日午後六時 至十六日午後六時) 南西の風晴

十四日	(華氏)
最高溫度	七八、八
最低溫度	六〇、四

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●開校 私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ規則書入用の向は郵券二錢送付す 龍山本町三の六六 吉村又平治

●男子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町競賣所（二八〇）

●被雇度 年廿五永年大坂にて商業に從事す店飾りの心得あり給料不望確實保證人あり 氏名在社（二八三）

●知人年廿六多年會社に從事せり中等教育あり且カード式簿記學卒業京龍間の會社又は商店に雇はれたし 度支部官舍內橋本

●本備入用 十五六歳にて身体强健なる者至急入用 氏名在社（二八五）

物件部

●電話讓受たし 本町民團役所前 佐々木

●砂金讓物あり本町民團役所前 佐々木

●貸家 京畿道利川郡利川に諸營業に適當の家屋あり地所共に金二百圓にて賣却す 京城三角町三 山內（二八二）

●コースター付上等自轉車中古格安に賣却したし 氏名在社（二八六）

廣告

梅毒皮膚生殖器專門治療●診察無料

梅毒りん病

かんそ●よこね●陰莖皮かむり手術

生殖器病 神經衰弱 記臆力減衰 陰萎遺精夢 精早漏陰莖 發育不充分

皮膚病いんきん●たむし●ひぜん等

わきが●ぢ

東京淺草瓦町 廿八淺草橋通 瓦町停留場横

中央醫院

◎遠地患者は病狀を記し郵便切手六錢を送れば療養書を送り尚ほ藥劑部發行の專門新藥說明書を送る

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す

南大門外御成町紅葉館跡（茂呂運送店前）

戶田病院

開通 電話九三八番

九州セメント 上等生石灰販賣

京城南山町一丁目電話三四四番

山村商店

龍山元町一丁目 電話三四八番

中村運送店

本所は江湖の依賴に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す

手數料は郵券一錢五厘御送付次第送呈す

擔當者は元鑛山監督分析署技師粟野德一

鐘路通一丁目

漢城鑛物分析所（電話二三八番）

〇●〇●〇 消閑之淸遊

毎日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ

京城明治町一丁目

京城碁會

（大和湯前〇万隣）

市中之仙境

十全病院

病室完備 入院隨意

移轉廣告

從來の向へ元（韓城新聞社跡）へ移轉す

電話七三七番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮寧親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間舊倍の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

（電話長一七〇番）

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 明治時計製造會社

韓國特約販賣店

掛置時計韓國代理販賣

仁川本町三丁目

時計自轉車御卸部 喜多金光堂本店

京城本町二丁目

時計小賣部 喜多金光堂支店 電話架設中

牛馬犬豚 治療所（入院隨意）

京城明治町三丁目（電話四二七番）

小川家畜病院

獸醫 小川龜太郎

サッポロビール アサヒビール

內外科、眼科 花柳病科（入院隨意）

本町六丁目五十番戶

瀧澤醫院（電話七二一番）

手撰石拔磨擦特別精白米 米利堅粉菓子粉洗粉諸粉 櫻麥挽割麥豆類其他雜穀 宅合名會社醬造淸酒特約 茂木醸造木白印醬油特約 大日本麥酒會社製品特約 洋酒洋菓和洋罐詰瓶詰類 宇治銘茶紅茶コーヒー類 味噌小濱物砂糖乾物海產物 眞綿小袖綿延綿蒲團綿類 雨傘蝙蝠傘足袋石鹸諸雜貨

京城明治町一丁目

牧野豐田商店

精米所 製粉所

牧野電力精米所 牧野電力製粉所

（電話二五三番）

祝開業二週年

並に支店開業御披露として六月六日より七月末日迄席料半額其他一切波路の勉强九候

待合 春日

[illegible]

大勉强 改良御料理 御一人前 金五十錢均一 御酒二本 御肴三品

西小門通り

東京樓

▲淸潔の下宿▼

客室の淸潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶横小路（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼

かめ屋

御披露

高等會席 冷ビール付 御一人前一圓

明治町三丁目（東拓會社下隣）

一力

急告

●今般當院に慈惠部を設け資力少なき患者十名を限り入院治療の需に應ず●

但し入院料實費を越へず

龍山老松町（電話二一八番）

上田病院慈惠部

待合

日韓印刷株式會社

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 帳簿罫 製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕候間倍舊ノ御愛顧之程奉願上候也

本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

●開業御披露●

會席御料理並仕出し

會席御一人前金五十錢

（但御酒二本附）

其他御客樣の御好に應じ調品仕候

尚來る十五日より開店御披露として向三日間福引券を呈す

六月

北米倉町（富田質店隣）

岡乃家

（電話架設中）

龍山 萬長旅館

東山の手柳町

電話四〇〇番

開業御披露

會席御料理並仕出し

今般左記の所に於て料理店開業致し候に付大々的勉强仕り候間何卒御贔負の程偏に奉希上候

六月

旭町一丁目（小森材木店前）

大福樓

明治廿年七月創立●

東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓●

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九

事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物 食料雜貨、ビール、米糀、壚辛各種特約販賣 尙御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

易斷觀 相 數 敎授 三一館

京城本町五丁目

鑑定一件一圓 特別二圓

通信判斷

[illegible]

特定御用 牛乳 荒井牧場 電話一〇五六

★株式會社百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目 電話五

資本金五百萬圓

頭取

爲替取組

畿內 大阪、京都、西陣 木、高田、伊丹、尼崎、

東海道 影、兵庫、神戶、明石、東京、名古屋、半田、熱田、

東山道 松阪、彥根、八幡、前橋、伊勢崎、

北陸道 森、秋田、能代、寺、小濱、福井、

山陰道 子、境、松江、久、宮津、舞鶴、新、富山、伏木、

山陽道 島、福山、姬路、西、岩國、山口、柳井、小郡、長府、網干、

南海道 山、串本、御坊、廣、和歌山、松山、八幡濱、三津、條、直方、飯塚、米、若松、中津、寺、佐伯、別府、崎、佐賀、熊本、洲

西海道

北海道 函館、小樽、

台灣 臺北、臺南、

淸韓國 仁川、釜山、元山、浦、羅州、大邱、群山、州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通

郡回漕店

電話三九番

●釜山長崎門司神戶行

山東丸 七月四日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行

高砂丸 七月一日正午時出

●大連、大沽、牛莊行

山東丸 六月二十二日前五時出

●大連、大沽、牛莊行

酒田丸 六月十七日正午出

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行

立神丸 六月十六日午後

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金四十五錢 ▲三ヶ月 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵稅一ヶ月分

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回 五十錢 ▲特別廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城西署四小門通 京城新報社 電話六六三番